

条幅部自由参考

5月25日正午必着

明石春浦先生書



竹影掃階塵不動、月輪穿沼水無痕

竹の影がきざはしをはらっても塵は立たず、月輪が沼にうつっても水面にはその跡をとどめない。俗念妄想を絶じた境地。菜根譚にみゆ。

叶 澄石先生書



男兒立志出鄉關、學若無成不復還、埋骨何期墳墓地、人間到處有青山

(釋月性)

男兒志を立てて郷関を出ず。学若し成る無くんば復還らず。骨を埋むる何ぞ期せん墳墓の地。人間到處青山有り。

5月25日正午必着

新田曾小泊	喜似故村名
路轉千峯換	鷗隨一權輕
赤松茅店樹	黃柏夜灘聲
已入江鄉路	山川亦在情
江鄉	(吳蘭雪)
偶過青溪上	濛濛野水春
釣魚竿在地	不見釣魚人
	(袁枚)

居敬而行簡 (論語)

敬に居て簡を行

行爲をつゝしみて行いを簡素にする。

条幅部創作課題

三種の詩文から一種を選択して出品のこと。

雨過春城花氣細
風清亭館樂聲幽

雨は春の市街を過ぎて花気は濃厚に、風は亭館に清らかに吹き音楽の音がかすかである。



三浦士岳先生書

偶過 青溪の上を過ぎれば 濛濛たる野水の春
釣魚竿を釣つて竿地に在り 釣魚の人を見ず

江郷 已に江郷の路に入る 山川亦情有り
赤松茅店の樹 黃柏夜灘の聲
路は千峰に轉じて換わり 鷗は一權に隨つて輕し
新田曾て小しく泊す 故村の名に似たるを喜ぶ

たまたま青溪のほとりを歩くと、野水が流れ春のもやがかかっている。だれか魚を釣っていたらしく釣り竿が置いたままになっているが、辺りに人影は見当たらない。

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

不平 懷君恨

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書

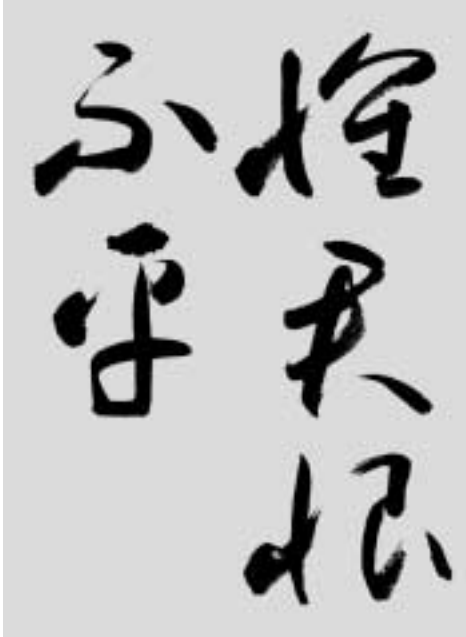


隸書

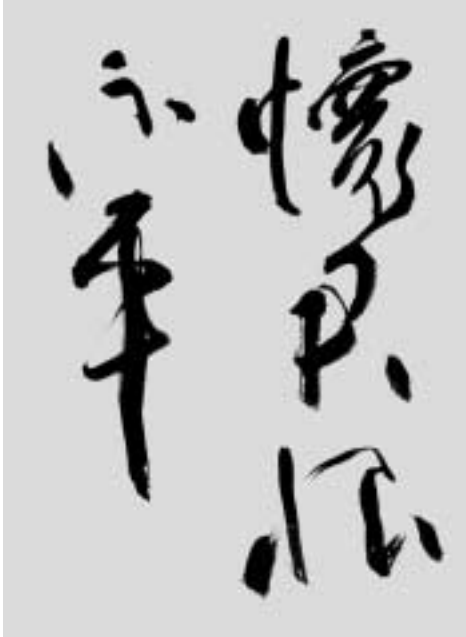


明石春浦先生書

草書



行草書



胸を傷めつつ詩を吟じ、ただひとり歩む すべてに深い感懐をもよおす
かの人が魚を釣ったところに久しく立ちつくすとき ただ鳥の声がきこえてくるだけ
山中の蔬菜は雨にうたれて枯れ尽き 水辺の樹木が籬の中にはいりこんではえている
いまわれこの谷川のほとりにあって 君を懐しみ、悲しみ悼む気持をおし静めることができない

經_二周處士故居_一

方干

愁吟與_レ獨行_一

何事不_レ關_レ情

久立釣魚處_一

惟聞啼鳥聲_一

山蔬和_レ雨歇

海樹入_レ籬生

吾在_二茲溪上_一

懷_レ君恨不_レ平

周_二処士_一が故居を經

方干

愁吟と独行と

何事か情に関わらざる

久しく釣魚の処に立ち

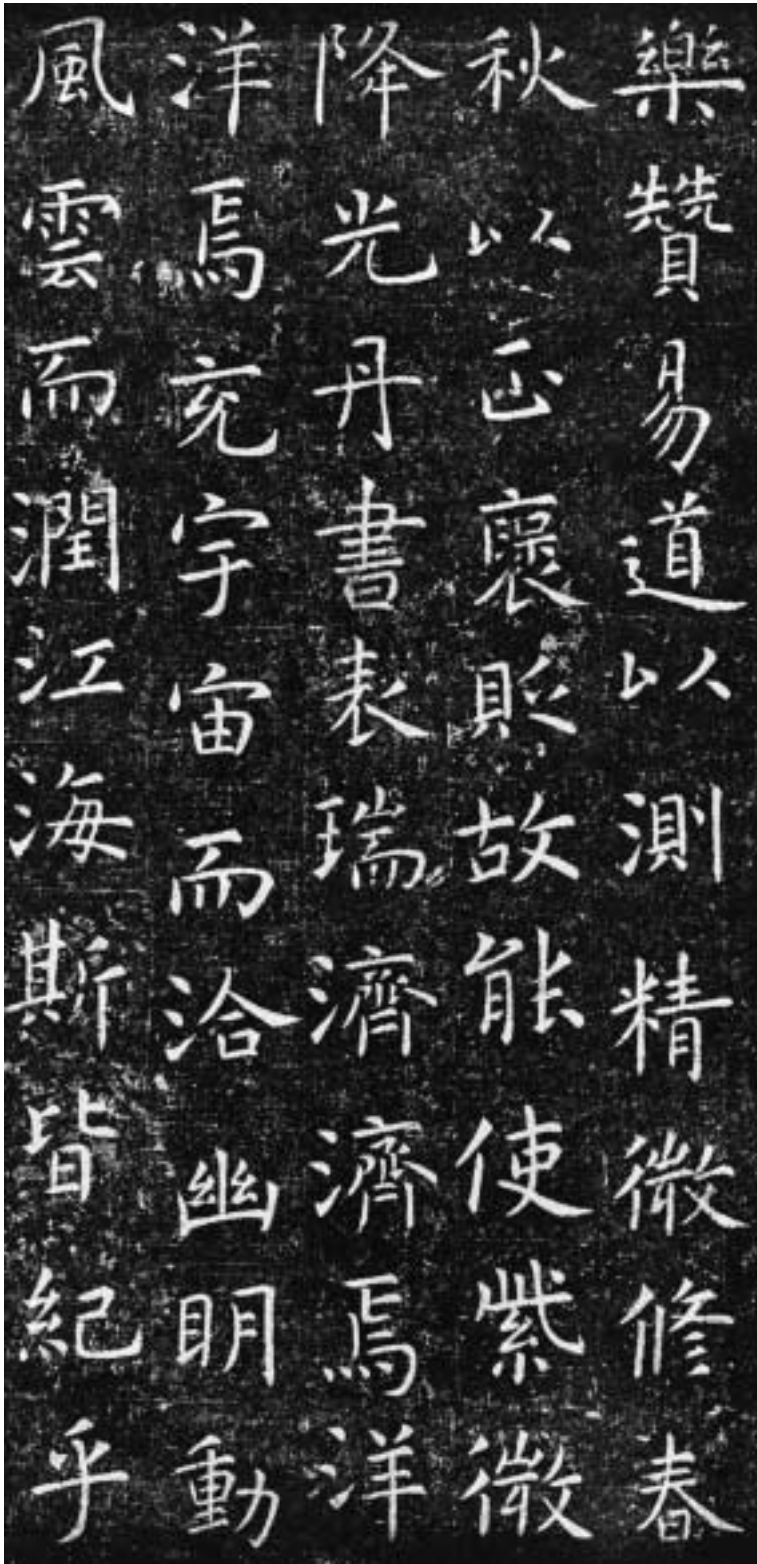
惟だ啼鳥の声を聞く

山蔬 雨に和して歇き

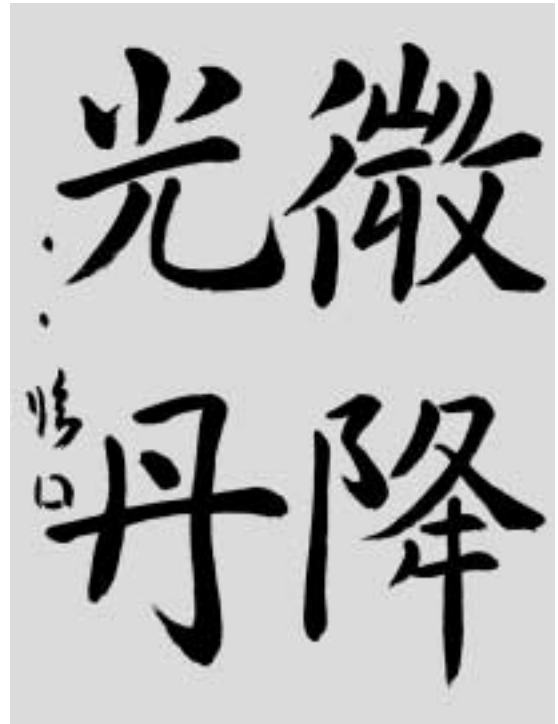
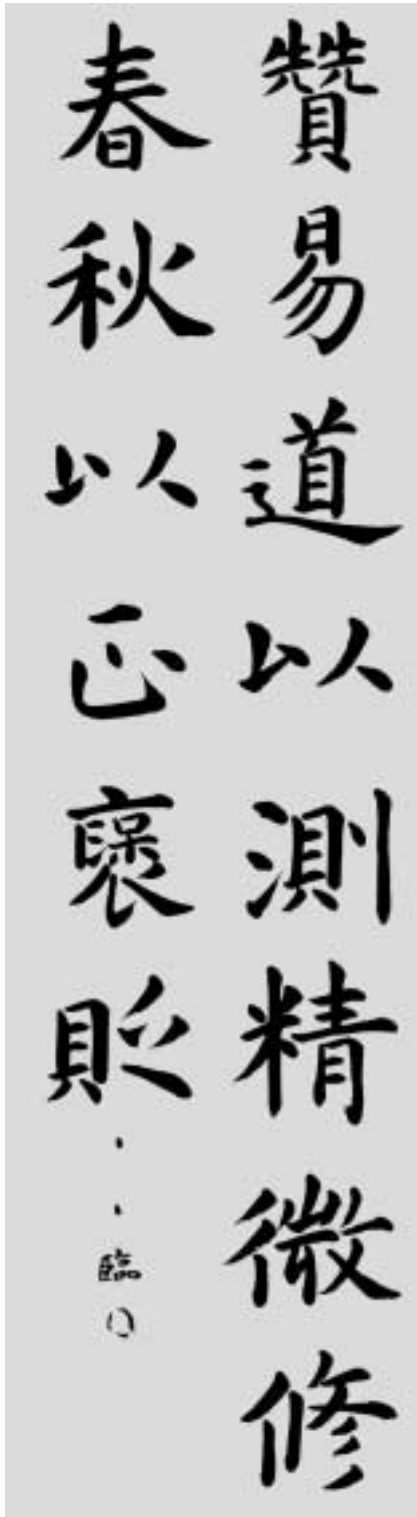
海樹 籬に入りて生ず

吾れ茲の溪上に在りて

君を懐うて 恨み平らかならず



(刪書定) 樂、贊易道以測精微、修春秋以正褒貶、故能使紫微降光、丹書表瑞、濟濟焉、洋洋焉、充宇宙而洽幽明、動風雲而潤江海、斯皆紀乎 (竹素)
 (書を刪して) 樂(を定む) 易道に贊して以て精微を測り、春秋を修して以て褒貶を正す。故に能く紫微をして光を降さしめ、丹書をして瑞を表わさ
 使む。濟濟たり焉、洋洋たり焉。宇宙を充して幽明を治し、風雲を動かして江海を潤す。斯れ皆な(竹素に)紀し、



唐 虞世南・孔子廟堂碑

虞世南（陳・永定二年・五五八年～唐・貞觀十二年・六三八年）浙江省餘姚の人で、字名は伯施という。南北朝時代の陳に仕え、陳が滅んで統一国家の隋に用いられ、後に唐の太宗を迎えられた。

隋から唐にかけては南北朝の統一によって文化の融合が進み、書においては南朝の秀潤な伝統的書風が主流となった。ことに唐の太宗は、文化政策に力を注ぎ、自らも王羲之を崇拜し書を愛好した。王羲之の七代の孫・智永に学んだといわれる虞世南は、欧陽詢・褚遂良とともに羲之の伝統を継承する人物として太宗に重く用いられた。（初唐の三大家）

孔子廟堂碑は、太宗が長安の孔子廟を再建したときに、虞世南に撰書させて建碑したものである。建てられた年月は不明であるが、武徳九年（六二二）から貞観七年（六三三）の間とされている。虞世南の書としては「左脚帖」「汝南公主墓誌」「積時帖」「破邪論」などがあげられるが、今日確実に虞世南のもものとされているのは孔子廟堂碑のみである。

孔子廟堂碑は、欧陽詢の「九成宮醴泉銘」とともに初唐の楷書の最高峰とされ、今日までそのゆるぎない地位を占めている。欧書の峻拔さに対し、虞書は整齊さの中に筆力を内蔵させ、おおらかさや明るさを醸し出している。懐の広い構えや、接点の離れた点画など、細やかな観察が臨書の第一歩である。

（春濤）



かん

せい

中学一年

雨宮春聲先生書



こ

どう

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



こく
国

ぎ
技

小学五年

藤井良泰先生書



こう
紅

ちゃ
茶

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着



こ
交
たい
代
小学三年

細
谷
春
誠
先
生
書



しん
身
たい
体
小学四年

榎
戸
春
龍
先
生
書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い け 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

まるい 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

うの中でおよぐ
 小さな金魚が水そ

小学五年

めをノートに整理した
 今までの学習のまと

小学六年

緑の森が見えます
 部屋の窓から美しい

中学

あたまを雲の上に出して
 四方の山を見おろして

一般(級位)

風をいたみ 岩打つ波のおのれのみくだけでもを思ふころかな (源重之)
 つみぐだけけなものを思ふころかな
 空をいたみ 岩打つ波のおのれ

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
 また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ぶ	た
つ	の
の	し
	い
え	
ほ	ど
ん	う

幼年

も	ひ
ら	よ
い	こ
ま	を
し	
た	ニ
	わ

小学一年

こ	め
う	だ
は	か
	の
川	
の	が
中	つ

小学二年

か	森
わ	で
い	見
い	つ
子	け
り	た
す	

小学三年

よ	五
ぐ	月
こ	の
い	空
の	に
ほ	高
り	く
	お

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

春はるの夜よの
能のともし火ひけして
介のねむるとき
年とし支しひとりひとりのなをば
八はち母ははにつけたり
多た



岩本景楓先生書